平成２９年度

成田市中学生議会

会議録

平成２９年８月１８日（金）開会

成田市

成田市教育委員会

目　　次

●中学生議会質問一覧　・・・・・・・2

●議事日程　・・・・・・・3

●出席した中学生議員　・・・・・・・5

●職務のため出席した中学生議会事務局職員　・・・・・・・5

●説明のため出席した者　・・・・・・・6

●議事　◎開会および開議の宣言　・・・・・・・7

◎議長選出　・・・・・・・7

◎市長あいさつ　・・・・・・・9

◎会期の決定　・・・・・・・10

◎会議録署名議員の指名　・・・・・・・10

◎代表質問（各校質疑応答）　・・・・・・・10

①大栄中学校　・・・・・・・10

②中台中学校　・・・・・・・14

③玉造中学校　・・・・・・・17

④成田高等学校付属中学校　・・・・・・・20

⑤下総みどり学園　・・・・・・・24

◎再開および議長の交代　・・・・・・・27

⑥遠山中学校　・・・・・・・28

⑦久住中学校　・・・・・・・31

⑧西 中 学 校　・・・・・・・34

⑨吾妻中学校　・・・・・・・37

⑩成田中学校　・・・・・・・40

⑪公津の杜中学校　・・・・・・・43

◎市長の講評　・・・・・・・46

◎議会の閉会　・・・・・・・47

平成 29 年度成田市中学生議会質問一覧（発言順）

1. 大 栄 中 学 校　・・・　成田市の防犯対策について

2. 中 台 中 学 校　・・・　外国人観光客へのわかりやすい案内について

3. 玉 造 中 学 校　・・・　ごみ問題、リサイクル活動について

4. 成田高等学校付属中学校　・・・　成田市の観光対策について

5. 下総みどり学園　・・・　成田市の自然環境の保全について

6. 遠 山 中 学 校　・・・　国際医療福祉大学医学部附属病院ができることにより予想される遠山地区の変化について

7. 久 住 中 学 校　・・・　保育施設の確保について

8. 西　中　学　校　・・・　英語教育への取組について

9. 吾 妻 中 学 校　・・・　東京オリンピック・パラリンピックに向けた戦略について

10. 成 田 中 学 校　・・・　成田市の学校教育について

11. 公津の杜中学校　・・・　子どもの安全対策について

議事日程について

このことについて、下記のとおり定めましたので通知します。

成田市中学生議会臨時議長

記

議事日程第１号

平成 29 年 8 月 18 日　午後１時開議

第１　議長の選挙

議事日程について

このことについて、下記のとおり定めましたので通知します。

成田市中学生議会議長

記

議事日程第１号の２

第２　会期の決定

第３　会議録署名議員指名

第４　代表質問

○出席した中学生議員（24 名）

椿　彩乃　議員	大栄中学校３年生	藤﨑　涼　議員	大栄中学校３年生
菅谷　紀香　議員	中台中学校２年生	野間口　美南　議員	中台中学校２年生
板倉　絢音　議員	玉造中学校３年生	的野　花菜音　議員	玉造中学校３年生
小川　凌央　議員	成田高等学校 付属中学校２年生	信末　賢人　議員	成田高等学校 付属中学校２年生
齋藤　悠樹　議員	下総みどり学園 ９年生	川瀬　拓哉　議員	下総みどり学園 ９年生
鈴木　悠吾　議員	遠山中学校３年生	石井　陽　議員	遠山中学校３年生
村田　愛実　議員	久住中学校２年生	石毛　海杜　議員	久住中学校２年生
植田　愛冬　議員	西中学校３年生	上田　侑奈　議員	西中学校３年生
齊藤　優輝　議員	吾妻中学校３年生	田原　陽登　議員	吾妻中学校３年生
伊藤　拓海　議員	成田中学校３年生	多田　康祐　議員	成田中学校３年生
山倉　梓　議員	成田中学校３年生	秋本　百音　議員	公津の杜中学校 ２年生
木﨑　悠喜　議員	公津の杜中学校 ２年生	斎藤　羽翼　議員	公津の杜中学校 ２年生

○欠席した中学生議員（なし）

○職務のため出席した中学生議会事務局職員

市民協働課 市民相談室長	瀬　尾　宜　志	市民協働課主査	小　川　恵　美
議会事務局主査	細　田　巨　輝	議会事務局主査	菅　原　拓　実

○説明のため出席した者

成田市長	小泉一成
（委嘱を受けた者）	
副市長	関根賢次
企画政策部参事	伊藤昭夫
財政部長	郡司光貴
空港部参事	森田　巌
シティプロモーション部参事	大矢知良
環境部長	石井益実
健康こども部長	五十嵐和子
経済部参事	五十嵐昭夫
都市部長	三橋道男
秘書課長	松島真弓
財政課長	篠塚岳史
水道部長	山下昌起
教育部参事	神山金男
消防本部次長	鈴木郁雄
農業委員会事務局局長	木内悦夫
教育長	関川義雄
副市長	関根賢次
企画政策部長	宮田洋一
総務部長	野村弘充
空港部長	山田明彦
シティプロモーション部長	伊藤和信
市民生活部長	秋山雅和
福祉部長	高田順一
経済部長	都祭幸也
土木部長	後藤行也
企画政策課長	米本文雄
総務課長（選管書記長）	清水活次
会計管理者	伊藤幸範
教育部長	宮﨑由紀男
消防長	大谷昌利
監査委員事務局局長	須賀澤賢治

◎開会および開議の宣言

〔開始のブザー〕

○総合司会（市民協働課市民相談室長）　本日の司会を務める、市民協働課市民相談室長の瀬尾でございます。議長が定まっておりませんので、議長が選出されるまでの間、私が臨時に議長の職務を行います。ただいまの出席議員数は 24 人であります。定足数に達しましたので、これより「平成 29 年度　成田市中学生議会」を開会いたします。

◎議長選出

○総合司会（市民協働課市民相談室長）　初めに、日程第 1、議長選挙を行います。議場の閉鎖を命じます。

〔議場閉鎖〕

中学生議会では、前半と後半でそれぞれ 1 名の議長に議事進行を行っていただきますので、2 名の議長を選出します。それでは、投票用紙を配付いたさせます。

〔投票用紙配付〕

配布漏れはありませんか。配付漏れなしと認めます。

〔「なし」と呼ぶ者あり。〕

投票箱を検めさせます。

〔投票箱点検〕

異状なしと認めます。念のため申し上げます。投票は単記無記名であります。投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、点呼に応じて順次投票を願います。点呼を命じます。

〔点呼〕

〔投票〕

投票漏れはありませんか。

投票漏れなしと認めます。投票を終了いたします。議場の閉鎖を解きます。

〔議場開鎖〕

これより開票を行います。立会人に中台中学校、菅谷紀香議員、玉造中学校、的野花菜音議員を指名いたします。両議員の立ち会いを願います。

〔開票〕

選挙の結果を報告いたします。

投票総数24票、これは先ほどの出席議員数に符合しております。

そのうち有効投票	24票		
無効投票	0票		
有効投票中	成田中学校	山倉　梓　議員	12票
	公津の杜中学校	斎藤　羽翼　議員	12票

以上のとおりであります。

よって、成田中学校、山倉梓議員並びに公津の杜中学校、斎藤羽翼議員が議長に当選いたしました。ただいま当選されました山倉議員と斎藤議員が議場におられますので、本席より当選の告知をいたします。ここで議長と交代いたします。前半は、成田中学校山倉議長にお願いいたします。山倉議長、議長席にお着き願います。

以上をもちまして、臨時議長の職務は終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

（午後　1時7分）

○議長（山倉梓議員）　成田中学校3年の山倉梓です。議長就任に当たりごあいさつを申し上げます。ただいま中学生議員の皆様のご推挙により、議長に選任いただきまして誠にありがとうございます。一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。スムーズな議事の進行を図っていきますので、皆様のご協力をお願いいたします。

（午後　1時8分）

◎市長あいさつ

○議長（山倉梓議員）　議事に入る前に、市長より発言を求められておりますので、これを許します。小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）　本日ここに、「平成29年度　成田市中学生議会」を招集したところ、貴重な夏休み期間にも関わらず、中学生議員の皆さんにご出席をいただき、誠にありがとうございます。

本年も市内11の中学校から、24名の代表生徒の皆さんにお集まりいただきました。この目的は、開かれた市政の一環として直接中学生の皆さんから意見や要望を伺い、今後の市政に反映していくというもので、今回で14回を数えます。

皆さんは、勉強あるいは部活動で日々忙しい時間を過ごしていることもあり、なかなか市政に関心を持つ機会は少ないと思います。しかしながら、ご存じのとおり、昨年には選挙権年齢が18歳に引き下げられました。数年後には皆さんも有権者となるわけでございます。さらに現在、国では成人年齢を18歳に引き下げようという議論が繰り広げられておりまして、来年の通常国会でその法案が出される予定となっております。そしてそれが承認されますと、平成32年からは、18歳から成人になるということになります。そういったことで、より政治あるいは市政を、本日の中学生議会を契機に更に身近に感じていただきたいと思います。

限られた時間ではございますが、将来皆さんはこの成田、日本を背負っていくわけでございます。市といたしましても、皆さんから幅広くご意見をお伺いしたいと思いますので、どうか中学生の代表として、自信をもって質問をしていただきたいと思います。

結びにあたりまして、本日の中学生議会が、皆さんの中学生活にとって貴重な経験となること、そして実りの多きものとなりますよう心から期待し、また願いまして、私からの挨拶とさせていただきます。以上です。

（午後　1時11分）

◎会期の決定

○議長（山倉梓議員）　日程第2、会期の決定を議題といたします。お諮りいたします。今議会の会期は、本日1日間といたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔各議員より「異議なし」の発声あり〕

○議長（山倉梓議員）　ご異議なしと認めます。よって会期は、本日1日間と決しました。

（午後　1時11分）

◎会議録署名議員の指名

○議長（山倉梓議員）　日程第3、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、議長において、西中学校、植田愛冬議員、久住中学校、村田愛実議員を指名いたします。

（午後　1時12分）

◎代表質問

○議長（山倉梓議員）　日程第4、各中学校からの代表質問を行います。

●大栄中学校

○議長（山倉梓議員）　初めに、大栄中学校、椿彩乃議員、並びに藤﨑涼議員。

〔大栄中学校　議員2名　登壇〕

○椿彩乃議員　私は、大栄中学校3年の椿彩乃です。成田市の防犯対策についてお伺い

します。

2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催され、成田市にも世界の国と地域から選手団や観戦者、観光客など、たくさんの方々が訪れると思います。そのことにより、経済が活性化されたり、成田の良さを知っていただけたりすると考えます。

しかし一方で、訪れる人が多くなると全く予想していなかった事件や事故が起きる可能性が高まると思います。そこで、成田市民として、地域と連携をした防犯対策を強化することが必要ではないかと考えています。

成田市が防犯対策で掲げている「犯罪者が嫌う、視線、声、光、音」という観点から、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて防犯対策を強化することについて、考えをお聞かせください。

○議長（山倉梓議員）　小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）　椿彩乃議員の、東京オリンピック・パラリンピックに向けた防犯対策の強化についてのご質問にお答えいたします。

本市では、地域と行政がそれぞれ連携して、安全で安心して暮らせる地域社会の実現を目指しております。

このための具体的な防犯対策として、犯罪者が嫌う「視線」の観点からは、青色回転灯を装着した車による市内のパトロールや防犯カメラの設置、「光」の観点からは、防犯灯の設置の促進、「音」の観点からは、小学生への防犯ブザーの配布などを行っております。しかしながら、「声」の観点では、地域住民がお互い顔見知りとなり、あいさつを交わすようになることが大切であると考えておりますが、近年、地域のつながりが希薄化していることから、区・自治会などへの加入を支援し、地域コミュニティが活性化するような活動を、更に推進してまいりたいと考えております。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けては、引き続きこれらの防犯対策を実施するとともに、現在市内にある60を超える自主防犯活動団体が、今後、地域に密着した活動をさらに活発に行っていただけるよう、支援してまいります。また、自宅

から外出する際は、短時間でもきちんと鍵をかけることはもちろんのこと、1 階の各窓には、補助錠や防犯ブザー等の防犯グッズを取り付けるなど、市民一人ひとりが日常生活でできることから防犯対策を進めるなど、防犯に対する意識を高く持っていただけるよう啓発を行い、更なる自主的な活動の促進を図ることで、防犯対策を強化してまいります。

○議長（山倉梓議員）　大栄中学校、藤﨑議員。

〔大栄中学校　藤﨑議員　自席で起立〕

○藤﨑涼議員　私は、大栄中学校 3 年の藤﨑涼です。ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

私たちの身近な場所にも目の届かない場所があると思いますが、一人一人が明るく元気なあいさつを行うことで、防犯対策に繋がるのではないかと考えています。また、活発にあいさつを交わす地域では、空き巣などの犯罪が起こりにくいと耳にしたことがあります。

市では青色防犯パトロールなどの防犯対策を行ってくださっていますが、どのような効果を得られているでしょうか。お聞かせください。

○議長（山倉梓議員）　秋山市民生活部長。

〔市民生活部長　秋山雅和　自席で起立〕

○市民生活部長（秋山雅和）　藤﨑涼議員の、青色防犯パトロールなど安全対策の効果についてのご質問にお答えいたします。

藤﨑議員のおっしゃるように、住民同士があいさつを交わしている地域では、空き巣などの犯罪が起こりにくいと言われています。

これは、住民がお互いのことをよく知っていることで、普段見かけない人がウロウロしていたら、すぐに気づかれてしまう。不審者は、顔を覚えられてしまうことを何よりも恐れているためと考えられます。

このように、住民同士があいさつを交わし、顔見知りになることは地域住民が日常生活の中で行える防犯対策といえます。

一方、本市で実施している防犯対策の一つとして、防犯パトロール車 11 台により、市内の巡回を行っているところです。この車は白黒に塗装し、外観がパトカーのように見えるうえ、青色回転灯を点灯させることで、特に夕方や夜間は明るく照らし、より効果的な「見せるパトロール」を広い範囲にわたって行うことができます。防犯活動が盛んな地域であると認識させることで、犯罪を企てようとする不審者を寄せつけない、犯罪の起こりにくい環境づくりに効果があるものと考えております。

これらの取組によりまして、巡回や見守りに対するお礼の言葉などをいただいておりますので、市民の皆様にも安心いただけているものと思います。

このほか、防犯カメラの設置など各種防犯対策に加え、警察による取り締まりの強化や地域における自主防犯活動の実施、事業所による巡回警備など防犯対策の強化、あるいは、市民一人ひとりの「自らの安全は自らが守る」という自主防犯意識が高まってきたことなど、様々な取組や防犯意識の向上による効果として、昨年の市内の犯罪発生件数が 1,495 件と、平成 14 年のピーク時の約 37 パーセントにまで大幅に減少しております。今後も、市民、事業者及び警察などの関係機関と連携・協働し、各種防犯対策を推進してまいります。

○議長（山倉梓議員）　大栄中学校、藤﨑議員。

〔大栄中学校　藤﨑議員　自席で起立〕

○藤﨑涼議員　ご答弁ありがとうございました。私は将来、平和について考える仕事につきたいと思っています。というのも、昨年、成田市の折鶴平和事業で長崎へ行かせていただき、平和の意味、平和の在り方について考えさせられました。今、世界では様々な事件やとても不安になってしまうようなことが色々発生しています。今、この平和を守るために平和都市である成田市が中心となり、ほかの都市と協力して、この平和を守っていくべきだと思います。また、この貴重な体験を、これからの生活に活かしていきたいと思います。これで大栄中学校からの質問を終わります。

（午後　1 時 23 分）

●中台中学校

○議長（山倉梓議員）　次に、中台中学校、菅谷紀香議員並びに野間口美南議員。

〔中台中学校　議員２名　登壇〕

○菅谷紀香議員　私は中台中学校２年の菅谷紀香です。成田市の外国人でも分かりやすい地図表記の方法についてお伺いいたします。

近年、外国人観光客が増加する中、この成田市にも成田山を観光・参拝する外国人が多くなったと感じています。しかし、地図表記や説明などの中には分かりにくいものもあるのではないでしょうか。

そこで、お伺いいたします。外国人観光客にとって、より充実した旅行・観光にするためには、誰もが分かりやすい案内板や案内表記、パンフレットやアナウンスなどが必要であると考えます。市としてどのように考えどのような対策をしているでしょうか。

以上に関して質問させていただきます。よろしくお願いいたします。

○議長（山倉梓議員）　小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）　菅谷紀香議員の、外国人にもわかりやすい案内板や案内表記、パンフレット等についてのご質問にお答えいたします。

まず、観光案内板につきましては、様々な国から訪れる多くの外国人観光客にわかりやすい表示とするため、「千葉県多言語観光案内板の表記等に関するガイドライン」などを参考にして、日本語と英語、韓国語、中国語簡体字、中国語繁体字に対応する案内板を、JR 及び京成 成田駅前や成田観光館など計８か所、また、日本語と英語に対応する案内板を、さくらの山など４か所、合計で市内 12 か所に設置しております。

また、道路案内標識については、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向け道路標識の改善に取り組んでいる、道路標識適正化委員会 千葉県部会が設置した「成田・浦安地区における道路標識の英語表記に関するワーキンググループ」の中で、国や県、警察などと協力し、外国人観光客にもわかりやすいものとなるように、英語表記の変更に順次取り組んでおります。

さらに、観光パンフレットについては、観光情報ツールとして、観光マップを日本語と英語、韓国語、中国語簡体字、中国語繁体字、タイ語で作成し、市内の観光施設などで配布しております。このほか、本市を訪れる外国人旅行者の情報収集に役立つよう、成田市観光協会のホームページ「FEEL 成田」においても、本年 6 月にさらなる利便性向上を図るためリニューアルし、タイ語を加えた同様の多言語で情報提供を行っております。

また、本年 7 月には、外国人観光客自身が選択した言語で、本市の観光情報や災害情報をプッシュ型で受信することができる、多言語観光・災害情報配信アプリの運用を開始しております。

今後も、本市の観光振興の基本的な考え方とその方向性を定めた「成田市観光基本戦略」の中で、「駅や主要観光ルートの観光案内標識の充実」や「ピクトグラム等を活用した多言語サインボードの設置」、「パンフレット、マップ、ホームページなどの多言語化の推進」などを掲げておりますことから、外国人観光客によりわかりやすいご案内ができるよう、順次改善に努めてまいります。

○議長（山倉梓議員）　中台中学校、野間口議員。

〔中台中学校　野間口議員　自席で起立〕

○野間口美南議員　私は、中台中学校 2 年の野間口美南です。ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。外国人観光客が急増する中、様々な言語で書かれたパンフレットだけでなく、観光案内所や成田山新勝寺などにおいて、実際に各国の言語で案内してあげることができると良いと思いますが、市としてどのように考え、対応しているのか、お答え願います。

○議長（山倉梓議員）　伊藤シティプロモーション部長。

〔シティプロモーション部長　伊藤和信　自席で起立〕

○シティプロモーション部長（伊藤和信）　野間口美南議員の、各国の言語による案内についてのご質問にお答えいたします。

本市の観光案内所及び成田観光館においては、英語で対応が可能な職員が常駐し、お

客様をご案内しております。英語以外での言語の対応については、「日本政府観光局」による中国語と韓国語の電話通訳サービスや翻訳アプリを使用して、お客様との意思疎通を図っております。

また、成田山新勝寺で活動する成田ボランティアガイドの会では、現在 43 名の会員登録があり、英語のほか、フランス語及びスペイン語に対応可能なガイドも登録されておりますので、事前にお問い合わせいただいたうえで、お客様のご要望に対応しております。

さらに、成田空港の乗り継ぎや、成田に宿泊する外国人観光客を対象とした「成田空港トランジット＆ステイプログラム」では、約 300 名のボランティアガイドの登録があり、すべての方が英語で案内をし、そのうち、1 割を超える方が英語以外での対応が可能と聞いております。

こうした状況から、すべての言語でご案内することは困難でありますが、今年７月に運用を開始いたしました多言語観光・災害情報配信アプリを活用するなどの工夫を凝らしながら、本市を訪れる外国人観光客に満足いただけるご案内ができるよう、おもてなしのこころで対応したいと考えております。

○議長（山倉梓議員）　中台中学校、野間口議員。

〔中台中学校　野間口議員　自席で起立〕

○野間口美南議員　ご答弁ありがとうございました。私は幼い頃に成田市に来ました。知らない土地での生活は不安ばかりでしたが、成田市の皆さんはとても優しく、すぐにこの地域が大好きになりました。この成田市の皆さんの優しさ、地域を思いやる心を私たち中学生で未来につなげていきたいです。そして、小学校低学年から授業に取り入れている英語を活用した、空港関係の仕事に就き、さらに成田市が良いまち、住み良いまちとして世界に伝えていけるようにするのが私の夢です。そのためにも、今習っている英語を私生活にも活かせるようにしていき、今日、この貴重な体験ができたので、堂々としゃべれるようにしていきたいです。これで、中台中学校からの質問を終わりにします。

（午後　1時30分）

●玉造中学校

○議長（山倉梓議員）　次に、玉造中学校、板倉絢音議員、並びに的野花菜音議員。

〔玉造中学校　議員2名　登壇〕

○板倉絢音議員　私は、玉造中学校3年の板倉絢音です。成田市のクリーン化についてお伺いいたします。

私は、普段から成田駅を利用することが多く、その際に、落ちているごみが目につきます。また、通学路にもごみが落ちていることがあります。ごみが落ちていると良い気持ちはしません。そこで、お伺いいたします。現在、成田市ではごみ問題についてどのように考えて、対策をとっているのでしょうか。また、ごみ問題を改善して、住みよい成田市にするために、ボランティアによる活動も必要だと考えています。その点についても、市としてどのように考えているのか、お答え願います。

○議長（山倉梓議員）　小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）　板倉絢音議員のごみ問題への対策、ボランティアによる美化活動についてのご質問にお答えいたします。

まず、ごみ問題への対策につきましては、ごみのポイ捨てをしないという、マナーの向上が重要と考えております。

そのために、本市では、市民、事業者及び市が一体となって清潔で美しいまちづくりを進め、快適な都市環境を確保することを目的として、平成8年に「成田市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止に関する条例」、いわゆる「ポイ捨て禁止条例」を定めております。

この条例の目的を実現するために、本市では、『ポイ捨てをなくし、私たちのまちを私たちの手で美しく』をスローガンに、毎年、5月、8月、12月の年3回、市内各地域の道路、空き地の散乱ごみの収集及び草刈りなどの環境美化運動を地域ぐるみで実施し

ており、昨年度は、延べ6万人もの市民の皆様にご参加をいただきました。

また、本市の玄関口であります、JR 成田駅・京成成田駅周辺においては、商工会議所、観光協会、商店街などのボランティアの方々のご協力をいただき、平成7年から毎月1回、駅前クリーン運動を実施しており、本年7月で250回目を迎えました。

ご提言をいただきました、ボランティアによる環境美化運動を進めていくことは、ごみを捨てない、きれいなまちづくりを実現するという意識を市全体で高めていく上で、非常に大切なことであると考えております。

具体的な活動といたしましては、市民、事業者及び市で構成された「なりた環境ネットワーク」と市が主催する、空港周辺道路美化活動を年2回、皆様方も参加したことがあるかもしれませんが、印旛沼周辺を清掃する印旛沼クリーンハイキングを年1回実施するなどの取組を行っております。また、市内の各種団体や企業、各小中学校においても独自にボランティアによる清掃活動が行われており、そのような活動を更に広げていくように努めてまいります。

いずれにいたしましても、きれいなまちづくりのためには、市民の皆様や本市を訪れた方々一人ひとりのマナーが必要となりますので、今後とも広報なりたや市のホームページ等で啓発に努めるとともに、各種ボランティアによる清掃活動により、清潔で美しいまちづくりを進めてまいります。

○議長（山倉梓議員）　玉造中学校、的野議員。

〔玉造中学校　的野議員　自席で起立〕

○的野花菜音議員　ご答弁ありがとうございます。私は、玉造中学校3年の的野花菜音です。質問を続けます。私は、今後の成田市には、リサイクル活動もさらに必要だと考えます。印旛沼クリーンハイキングのようなレクリエーションも合わせた催しをリサイクル活動についても開催することで、リサイクルに対する意識の啓発につながると思いますが、市の考えを教えていただきたいです。よろしくお願いします。

○議長（山倉梓議員）　石井環境部長。

〔環境部長　石井益実　自席で起立〕

○環境部長（石井益実）　的野花菜音議員の、リサイクル活動の推進についてのご質問にお答えいたします。

本市におきましては、昭和 61 年からリサイクル運動による集団回収を開始し、各自治会、各 PTA など、市民の皆様のご協力により、これまで多くの資源物が回収され、リサイクルされています。

しかし、ここ数年は、活動している団体数と回収量は減少傾向にあります。

本市といたしましては、市民の皆様によるリサイクル運動は、ごみの減量化と資源化に最も重要な取組であると考えておりますことから、引き続き、新たな団体の掘り起こしに努めるなど、参加団体の増加を図っているところです。

的野議員がおっしゃるような、レクリエーションなどを通じて、楽しみながらリサイクル活動に取り組むことは、リサイクル活動に参加するきっかけとしては、非常に大切なことであると考えております。

本市におきましては、リサイクル活動の拠点であります、リサイクルプラザにおいて、リサイクルプラザ運営委員会の主催により、再生家具や再生自転車の抽選会とフリーマーケットを年 2 回開催しております。

また、親子で参加できる「廃食油から石けん作り」や「牛乳パックからはがき作り」、一般の方向けの「布切れから帽子作り」などのリサイクル教室を年 7 回開催しております。

さらには、例年、11 月の産業まつりや 1 月の消費生活展にリサイクルに関するブースを設け、来場された方に、ごみの正しい分別方法やリサイクルについてのクイズに答えていただくなどの啓発事業も行っているところであります。

このように、本市としましても、リサイクルに対して様々な事業を行っているところでありますが、さらなるごみの減量やリサイクル率の向上に向け、市民が楽しみながらリサイクルを体験できるような催しを取り入れてまいりたいと考えております。

○議長（山倉梓議員）　玉造中学校、的野議員。

〔玉造中学校　的野議員　自席で起立〕

○的野花菜音議員　ご答弁ありがとうございました。私は、市で開催される行事には積極的に取り組んでいこうと思っています。なぜなら、行事に参加することによって、たくさんの人からたくさんのことを学ぶことができるからです。行事を通して今まで学んできたこと、そしてこれから学ぶことを活かし、たくさんの人から必要とされる、困っている人がいればいち早く助けることができる、そんな思いやりのある人間に私はなろうと思います。これで玉造中学校からの質問を終わります。

（午後　1時40分）

●成田高等学校付属中学校

○議長（山倉梓議員）　次に、成田高等学校付属中学校、小川凌央議員、並びに信末賢人議員。

〔成田高等学校付属中学校　議員2名　登壇〕

○小川凌央議員　私は、成田高等学校付属中学校2年の小川凌央です。成田市の観光対策についてお伺いします。

成田市は、年間1,000万人を超える参拝客が訪れる成田山新勝寺と、3,900万人の旅客数をほこる成田空港を有し、国内有数の観光地であります。しかし、市内に宿泊した外国人観光客の中には、成田市内の観光スポットを知らなかったために市内観光に出かけなかった人が多いとのアンケート結果が、成田市観光基本戦略に記載されており、非常に残念です。

新勝寺には様々な文化財がありますし、成田山門前の町並みは、昨年、日本遺産に認定されています。こうした歴史ある成田を、ぜひ、外国人観光客にも知ってもらい、成田を訪れてほしいと考えています。

そのためには、まず成田を知ってもらう必要があります。外国人観光客は、どのように観光情報を収集しているのか、そしてどのようなニーズがあるのかを調査し、より効果的な情報発信が必要であると考えますが、成田市としてはどのような対策をお考えでしょうか。答弁をお願いします。

○議長（山倉梓議員）　小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）　小川凌央議員の、外国人への情報発信についてのご質問にお答えいたします。

本市では、一人でも多くの外国人に成田へ訪れていただくため、「ラストナイト　イン成田　日本最後の思い出づくり」をコンセプトに、官民一体となったミッション団によるアメリカ・ロサンゼルスや、タイ・バンコク、台湾・桃園市での観光プロモーション、海外旅行会社やメディアを対象とした視察ツアー、海外ドラマのロケ誘致や海外情報誌での情報発信などの施策を展開してまいりました。

また、成田国際空港株式会社をはじめとし、国、県、周辺市町、さらには交通事業者が連携を図りながら、成田空港での乗り継ぎや、周辺ホテルに宿泊している外国人を対象として、無料で市内を案内する「成田空港トランジット＆ステイプログラム」や「北総四都市日本遺産」をめぐるセレクトバスツアーを実施しております。

さらに、市内ホテルでは、宿泊客を対象に多言語表記の成田市観光パンフレットの配布やポスターの掲示等にご協力いただきながら、PR に努めているところであります。

これらの観光施策による成果といたしまして、本市の外国人宿泊客数は、年々増加しており、昨年は前年比 12 万人増の約 175 万人となり、過去最多を記録しました。

この度、本市の観光振興の基本的な考え方とその方向性を定めた「成田市観光基本戦略」の策定に伴い実施した、成田市内の外国人宿泊客を対象にしたアンケート調査では、21.6 パーセントの方が「市内の観光場所を知らなかったために、成田周辺へ観光に出かけなかった」と回答しております。

また、同調査では、訪日にあたっての情報入手経路を、多くの方が旅行会社のパンフレットやホームページ、旅行雑誌に加え、友人、知人からのクチコミや SNS 等と回答しております。

本市といたしましては、このアンケート調査結果等を反映した「成田市観光基本戦略」に基づき、成田市観光情報サイト「FEEL 成田」の充実や海外情報誌への観光 PR 記事

の掲載に加え、国際医療福祉大学の留学生などの協力による、SNS での外国人目線からの情報発信に取り組んでまいります。

さらに、本年 4 月より、観光、スポーツ、文化を一体的に所掌するシティプロモーション部を新設したことから、積極的に成田の魅力を国内外に向け発信することに努め、より一層の成田の賑わいや、活気を生み出すとともに、今後も、成田空港を擁する立地を活かし、更なる観光客誘致を推進してまいります。

○議長（山倉梓議員）　成田高等学校付属中学校、信末議員。

〔成田高等学校付属中学校　信末議員　自席で起立〕

○信末賢人議員　ご答弁ありがとうございます。私は、成田高等学校付属中学校 2 年の信末賢人です。質問を続けます。

成田市や成田市観光協会のホームページを拝見させていただき、その中で、もっと観光客を呼び込むためのイベントの企画が必要だと感じました。現在でも成田には、太鼓祭や祇園祭をはじめとする素晴らしい催し物がたくさんあります。しかし、今までにはないような企画が必要だと考えます。

例えば、成田山にゆかりの深い弘法大師の書や、弘法大師とともに書の能書の三筆に数えられる嵯峨天皇や橘逸勢の書を、同時に展示してみてはいかがでしょうか。また、現在の刀剣ブームに関連して、不動明王と関連する刀剣を展示することもひとつと考えます。成田市の見解をお聞かせください。

○議長（山倉梓議員）　伊藤シティプロモーション部長。

〔シティプロモーション部長　伊藤和信　自席で起立〕

○シティプロモーション部長（伊藤和信）　信末賢人議員の、観光客を呼び込むためのイベントの開催についてのご質問にお答えいたします。

通年型の観光地を目指す本市では、観光協会や商工会議所等の関係団体と協力しながら、太鼓祭や祇園祭、伝統芸能まつりや紅葉まつりなど、四季折々に各種観光イベントを実施しております。これらのイベントには、市内はもとより、県内外からも多くの観光客が訪れており、本市を代表する観光イベントとして定着しているところであります。

また、「成田屋」の屋号で有名な歌舞伎の市川宗家と成田山新勝寺との江戸元禄以来の結びつき・絆に着目し、平成 27 年度からは、十一代目市川海老蔵丈を「成田市御案内人」に任命するなど、歌舞伎をはじめとする日本の伝統芸能や文化と連動しながら成田の魅力を国内外に発信しております。

具体的な取組といたしましては、御案内人任命式を皮切りに、歌舞伎衣裳展や歌舞伎公演などを実施しており、本年は、全 5 回にわたる歌舞伎講座を開催するなど、市内外から、さらなる歌舞伎や伝統芸能ファンの獲得に努めております。さらに、本年 10 月には、市内中学生の皆様を対象とした、歌舞伎公演リハーサル講座の実施も予定しているところであります。

そのほか、市内の特産品を PR するイベントとして、「うなぎ祭り」や、三里塚地区が発祥と言われている「ジンギスカン」の試食会など、成田の魅力を知っていただくためのイベント等も実施しております。

また、現在、平成 30 年の成田山開基 1080 年祭に向け、各種記念行事等を企画するため、実行委員会を設立したところでありますが、イベントなどの開催にあたりましては、「能書の三筆」や「刀剣」の展示など、信末議員からのご提案のような、幅広い視点や新しい発想をもって企画することが重要であると考えておりますので、今後も関係団体や地域と一体となって、より一層の観光客誘致に努めてまいります。

○議長（山倉梓議員）　成田高等学校付属中学校、信末議員。

〔成田高等学校付属中学校　信末議員　自席で起立〕

○信末賢人議員　ご答弁ありがとうございました。うなぎ祭りやジンギスカンの試食会などのイベントをやっているとは知らず、大変驚きました。歌舞伎講座や歌舞伎衣装展等があるということで、いずれも非常におもしろそうだなと感じました。来年の成田山開基 1080 年祭の実行委員会の企画するイベントに期待したいと思います。本日は大変お忙しい中、ありがとうございました。これで、成田高等学校付属中学校からの質問を終わります。

（午後　1 時 51 分）

●下総みどり学園

○議長（山倉梓議員）　次に、下総みどり学園、齋藤悠樹議員、並びに川瀬拓哉議員。

〔下総みどり学園　議員２名　登壇〕

○齋藤悠樹議員　私は、下総みどり学園９年の齋藤悠樹です。成田市の自然環境の保全についてお伺いいたします。

私が住んでいる下総地区は、緑の木々が多く、利根川や水田の風景など、美しい自然であふれている地域です。

一方で、道ばたや水田の近くには多くのゴミが落ちており、地域の人たちでゴミ拾いを行っています。私もそのような活動に参加する中で、幼い頃から慣れ親しんだこの成田の豊かな自然を後世に伝えていくために、私たちの手で守っていかなければいけないと考えるようになりました。

そこで、お伺いいたします。現在成田市では、自然環境の保全について、どのような取組を行っているのでしょうか。

○議長（山倉梓議員）　小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）　齋藤悠樹議員の自然環境を保全する取組についてのご質問にお答えいたします。

私たちのふるさと成田市は、豊かな水と緑に恵まれ、四季折々の自然と伝統的な地域文化に育まれた、自然と調和した美しいまちとして発展してまいりました。しかしながら、急速な都市化や社会経済活動の発展に伴い、身近なゴミ問題、大気汚染や騒音問題、生活排水等による水質汚濁など、日常生活に伴うものから、地球温暖化、オゾン層の破壊をはじめとする地球規模のものまで、複雑・多様化した様々な環境問題が生じ、私たちの生活にも影響を及ぼすようになっております。

こうした環境問題に適切に対応し、将来にわたって良好な環境を保全し創造していくため、本市では、平成９年３月に「成田市環境基本条例」を制定し、この条例に基づき、

「成田市環境基本計画」を策定しております。本計画では、豊かな緑や自然を未来に引き継ぐために「自然に配慮したまちをつくる」・「自然と生態系を守り、親しみやすい環境をつくる」など、個別に目標を定め、市民・事業者・市が、それぞれの日常生活や事業活動の中で、自主的に、環境に配慮した行動を行うよう取り組んでおります。

さらに、市内の自然環境の現状や動植物の生息状況の移り変わりを把握するために、本市では動植物生息調査を、概ね10年ごとに実施してきており、平成5年度から平成8年度に第1次調査を、平成14年度と平成15年度に第2次調査を実施し、平成26年度と平成27年度には、第3次調査を実施しました。

第3次調査では、植物929種、鳥類72種、昆虫類1,355種など、前回までの調査と同様に非常に多くの生物が確認されており、また、環境省のレッドリストにおける注目種は、合計 23 種が確認されていることから、本市の自然は概ね良好に保たれていることが分かりました。

本調査の成果により、「なりたの自然環境」と「なりたの自然を見てみよう！」の 2 種類の自然観察ガイドを作成し、小中学校に配布したほか、市のホームページにも掲載しております。

「豊かな自然を後世に伝えていくためには、私たちの手で守っていかなければならない」という齋藤議員の思いは、大変重要なことと考えます。本市といたしましては、緑うるおう自然環境との調和を図り、活力ある快適で住みよいまちづくりを進めてまいりますので、市民の皆様には、市の取組にご参加いただくとともに、自主的な環境保全活動にも積極的に取り組んでいただければと考えております。

○議長（山倉梓議員）　下総みどり学園、川瀬議員。

〔下総みどり学園　川瀬議員　自席で起立〕

○川瀬拓哉議員　私は、下総みどり学園9年の川瀬拓哉です。ご答弁ありがとうございました。質問を続けます。

私は、成田市の自然を守るためには、環境保全に対する市民の意識を向上させることが必要不可欠であると考えます。

そのために、市民の環境への関心を高めたり、自然と触れ合ったりするイベントの開催など、市としての取組はどのようにしているのでしょうか。

○議長（山倉梓議員）　石井環境部長。

〔環境部長　石井益実　自席で起立〕

○環境部長（石井益実）　川瀬拓哉議員の環境に対する市民意識の向上についてのご質問にお答えいたします。

議員ご指摘のとおり、成田市の自然を守るには、環境保全に対する市民の関心を高めていただくことが必要であり、そのためには自然と触れ合い慣れ親しんでいただくことが大切であると考えます。

本市では、第3次の動植物生息調査におきましては、専門家による調査と併せて、初めての試みである、ボランティアの市民の方々による調査も実施しました。市民調査員は公募により参加を呼びかけた結果、135人の方々のご参加をいただき、570種類の生き物の報告をいただきました。今回の活動を通じて身近に自然を感じていただくことができたと思います。

また、市民・事業者・市の三者が協働して環境配慮行動を推進するため、平成20年度に市と学校や企業、環境保全団体等で組織する「なりた環境ネットワーク」が発足いたしました。「なりた環境ネットワーク」では、印旛沼周辺や空港周辺道路の美化活動のほか、外部から講師をお招きしてお話しいただく環境講演会、水上ボートに乗船して印旛沼を観察する環境学習会の開催、会員による環境の整備や保全活動など、環境に配慮した事業に取り組んでおります。

本市の自然を守るためには、市民一人ひとりが環境に関心を持ち、何をすべきかを考え行動することが大切であります。

本市といたしましては、今後も「なりた環境ネットワーク」の活動を通じて、市民の方々の環境保全の意識の向上を図ってまいりたいと考えております。

○議長（山倉梓議員）　下総みどり学園、川瀬議員。

〔下総みどり学園　川瀬議員　自席で起立〕

○川瀬拓哉議員　ご答弁ありがとうございました。これから私は、自然豊かな成田市を大切にし、自分のできることから、また、やらなければいけないことに、取り組みたいと思います。地域に貢献できるように、これからも学んでいきたいと思います。これで、下総みどり学園の質問を終わりにします。

（午後　1時59分）

○議長（山倉梓議員）　ここで、暫時、休憩といたします。

私、山倉梓による議事進行はここまでとなります。皆さん、ご協力いただきありがとうございました。

（午後　2時00分）

【休　　憩】

◎再開

〔開始のブザー〕

◎議長の交代

○総合司会（市民協働課市民相談室長）　中学生議会を再開するに当たり、議長の交代があります。後半の議長は、初めに行った議長選挙にて選出された、公津の杜中学校、斎藤羽翼議員にお願いいたします。

○議長（斎藤羽翼議員）　申し上げます。これより、成田市中学生議会の議長を務めます、公津の杜中学校2年の斎藤羽翼です。議長就任に当たりごあいさつを申し上げます。

中学生議員の皆様のご推挙により、議長に選任いただきまして、まことにありがとうございます。祇園祭をはじめ伝統文化の多い成田市は、楽しく活気があって、多くの人に愛されている街だと思います。今後も多くの人に喜んでもらえるようなまちづくりのために、この議会を通して話し合っていければいいと思っています。私も、議長として責任を持って議会運営に取り組んでまいります。スムーズな議事の進行を図っていきたいと思いますので、皆様のご協力をお願いいたします。

（午後　2時17分）

○議長（斎藤羽翼議員）　再開いたします。代表質問を続けます。

●遠山中学校

○議長（斎藤羽翼議員）　遠山中学校、鈴木悠吾議員、並びに石井陽議員。

〔遠山中学校　議員2名　登壇〕

○鈴木悠吾議員　私は、遠山中学校3年の鈴木悠吾です。

国際医療福祉大学医学部の附属病院建設により予想される遠山地区の変化についてお伺いいたします。

私は、公津の杜にキャンパスがある国際医療福祉大学医学部の附属病院が遠山地区の畑ヶ田に建設される、という話を聞きました。成田国際空港も近くにあるため、医学部附属病院ができることにより、遠山地区が医療や福祉の面でも国際的に発展していくのではないか、と私は考えています。

そこで、お伺いいたします。現在、成田市では、国際医療福祉大学医学部の附属病院ができることにより、遠山地区へどのような効果や影響があると予想しているのか、お聞かせください。

○議長（斎藤羽翼議員）　小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）　鈴木悠吾議員の、国際医療福祉大学医学部附属病院ができること

による遠山地区への影響についてのご質問にお答えいたします。

国際医療福祉大学医学部附属病院につきましては、今年の秋に建物の建設工事に着手し、平成 32 年中に開院することが予定されています。医学部の附属病院は、患者さんに高度な医療を提供する場であるとともに、医学部生の実習施設という性格も持ちますので、すべての診療科を備え、最先端の治療が行われます。また、成田空港から一番近い大学病院ということで、海外からの患者の受け入れも想定されています。病床数は、642 床となる予定でありますので、成田赤十字病院クラスの大きな総合病院が遠山地区にできることとなります。

附属病院が開院することの効果としましては、まず、身近で高度な医療を受けることができることはもとより、周産期医療や救急医療、災害医療なども充実し、医療環境が大きく向上することとなります。

また、大きな大学病院ができることで、医師や看護師などの様々な医療従事者や、病院内の事務、レストランや売店、病院の清掃など 2,000 人を超える人がこの病院に勤務することになり、多くの雇用が創出されます。これらの方々の中には、病院の周辺に居住する方も相当数予想されることから、人口が増加し、遠山地区の活性化に寄与すると考えております。

また、外来患者や見舞客、病院関連の従業員等により、周辺道路の交通量の増加が見込まれることから、市では病院の周辺道路や成田駅方面からの病院へのアクセス道路の拡幅や改良などを計画しております。バス事業者では、成田駅や成田空港方面から附属病院への、路線バスの乗り入れについて検討を始めておりますので、遠山地区の交通アクセスは大きく向上するものと予想しております。

さらに本市では、附属病院を中心に医療産業を集積したいと考えておりますので、附属病院の開院は、単に医療環境の向上をもたらすだけではなく、病院関連従事者の居住による人口の増加、道路交通アクセスの向上、新たな産業の集積など、附属病院周辺が本市のまちづくりの新たな核として成長し、遠山地区のみならず、成田市全体に様々な効果をもたらすことが期待されます。

○議長（斎藤羽翼議員）　遠山中学校、石井議員。

〔遠山中学校　石井議員　自席で起立〕

○石井陽議員　私は、遠山中学校 3 年の石井陽です。

ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

国際医療福祉大学医学部の附属病院は病床数 642 床とのことですが、どのような診療科を置くことが予定されていますか。また、特色のある診療科があればお答え願います。

○議長（斎藤羽翼議員）　伊藤企画政策部参事。

〔企画政策部参事　伊藤昭夫　自席で起立〕

○企画政策部参事（伊藤昭夫）　石井陽議員の、医学部附属病院の診療科目についてのご質問にお答えいたします。

医学部の附属病院は、医学部生の実習施設という性格も持つため、一般的な内科や外科、耳鼻科、眼科等のほかにも、感染症内科や心臓外科、放射線治療科、救急診療科など 39 の診療科が設置される予定であります。

また、海外の大学や医療機関との国際連携を進めることも大きな特徴です。海外の医療機関と接続し、病理診断や放射線診断を行う「国際遠隔画像診断センター」や「感染症国際研究センター」「医療機器の国際研修センター」などを設置して国際的な医療ニーズにも対応する計画であります。

○議長（斎藤羽翼議員）　遠山中学校、石井議員。

〔遠山中学校　石井議員　自席で起立〕

○石井陽議員　ご答弁ありがとうございました。私は国際医療福祉大学ができることにより成田市がさらに発展していき、医療の面でも市民が安心して暮らせる街になると良いと思っています。また、成田国際空港という、恵まれた国際的な環境がある成田市で、私は将来、英語を使った仕事に就きたいと考えています。多くの外国人を迎える空港で、英語が必要になってきます。そのため、たくさん英語を勉強して、あたたかく迎えられるようにしたいと思います。私は今年、姉妹都市であるアメリカ・サンブルーノの派遣中学生として、3 月に訪問してまいりました。そこで、ホストファミリーととても楽し

い時間を過ごすことができ、素晴らしい体験でした。先月は、サンブルーノの生徒が成田市を訪問し、私の家にホームステイしました。これからも、この国際的な交流を続けたいと思っています。これで、遠山中学校からの質問を終わります。

（午後　2 時 25 分）

●久住中学校

○議長（斎藤羽翼議員）　次に、久住中学校、村田愛実議員、並びに石毛海杜議員。

〔久住中学校　議員 2 名　登壇〕

○村田愛実議員　私は、久住中学校 2 年の村田愛実です。

成田市での保育園などの施設数は、保育等を希望する子どもの数に対して十分に確保できているのか、についてお伺いいたします。

私は、昨年度、東京都で大きく取り上げられた待機児童問題についてニュースで知った時、一つの出来事としかとらえていませんでした。しかし調べてみると、保育園に入園できず親が仕方なく仕事をやめたり、子どもを一人で家に残して働きに出たり、ということがありました。保育園に通うということは、親が安心して働くことができ、子どもも安心して過ごすことができます。近年日本は少子化・高齢化が進み、子どもはこれからの日本を担っていく貴重な人材となります。

そこで、お伺いいたします。現在、成田市では保育園などの十分な確保についてどのような対策をとっているのでしょうか。

○議長（斎藤羽翼議員）　小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）　村田愛実議員の、保育施設の確保についてのご質問にお答えいたします。

まず、待機児童問題につきましては、国をあげての取組が進められており、国全体では平成 25 年度からの 5 年間で、約 53 万人分の保育の受け皿の拡大が図られるとともに、平成 32 年度までに、さらに 22 万人分の保育の受け皿を拡大し、待機児童を解消する計

画であります。

また、国は、平成30年度から実施する子育て安心プランに基づき、平成28年度72.7パーセントであった女性就業率を、平成34年度までに80パーセントに引き上げるために必要となる、10万人分の保育の受け皿の拡大も目指しております。

本市の待機児童の解消に向けた対策といたしましては、子ども子育て支援事業計画に基づき、平成27年度から28年度に「認可保育園」1園、ゼロ歳児から2歳児を対象とする「小規模保育事業所」6か所等を開設しました。さらに、本年4月から7月にかけて、「認可保育園」2園、本市初となる「認定こども園」2園、「小規模保育事業所」2か所、「家庭的保育事業所」1 か所を開設いたしました。また、公立保育園の大規模改修工事に伴い、定員の増加等を図ることにより、併せて600人以上の保育の受け皿を新たに確保し、本市全体で2,844人の児童を保育できることとなりました。

その結果、平成27年4月1日現在55人おりました国の基準に基づく待機児童は、本年7月1日現在におきまして、ようやく0人を達成いたしました。

しかしながら、国の待機児童の基準には含まれませんが、特定の保育園への入園を希望しているなどの理由により、入園をお待ちいただいている児童がまだ36人おります。また、保育園には、毎月数十人の入園の申請がありますので、年度末に向けて入園をお待ちいただく児童がさらに増加していくことが予想されますことから、今後も公立保育園の大規模改修工事を進める中で定員の増加を図るなど、さらなる保育の受け皿確保に努めてまいります。

○議長（斎藤羽翼議員）　久住中学校、石毛議員。

〔久住中学校　石毛議員　自席で起立〕

○石毛海杜議員　私は、久住中学校 2 年の石毛海杜です。ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

保育士という職業は低賃金の上、重労働で年々保育士を志す人が減ってきており、保育士の確保も一つの課題となっていると聞きました。

私は今後の成田市には保育士の確保も必要であると考えておりますが、市としてどの

ように考えているのか、お答え願います。

○議長（斎藤羽翼議員）　五十嵐健康こども部長。

〔健康こども部長　五十嵐和子　自席で起立〕

○健康こども部長（五十嵐和子）　石毛海杜議員の保育士の確保のための取組についてのご質問にお答えいたします。

市長の答弁にありました保育の受け皿の確保には、保育を支える保育士の確保が必要不可欠でありますが、保育士の有効求人倍率が 2 倍を超えるなど、全国的に保育士確保が課題となっております。

このような保育士不足の状況を踏まえ、国では、本年度から、すべての保育士に対し、月額 6 千円程度の処遇改善を行うとともに、技能・経験を積んだ保育士に対しては、一定の経験年数、キャリアアップに係る研修の受講などを要件として、月額 5 千円から 4 万円の処遇改善を行うこととしております。

千葉県においても、市町村の事業として、本年 10 月から県独自の処遇改善を行う予定です。

本市におきましても、保育士確保は喫緊の課題と考え、平成 27 年度に国家戦略特区事業として地域限定保育士試験を実施するなど、保育士の確保に努めてまいりましたが、市内の保育士の処遇を改善することで、保育士確保を一層進展させられるよう、市内の私立保育園に勤務する常勤の保育士に対し、給与の上乗せ補助をする「なりた手当」を新たに創設いたしました。

「なりた手当」は、市内の保育園などにできるだけ長い期間勤務していただけるよう、市内の私立保育園などで常勤の保育士として勤務した年数に応じ、段階的に手当を交付いたします。

さらに、保育士の復職支援の一環として、親が保育士であるこどもの保育園への優先入所の制度化や宿舎の借り上げ支援、保育士の業務負担軽減に向けた勤務体制の整備など、保育士の処遇改善を積極的に進め、市内の保育園で働く保育士の確保に努めてまい

ります。

○議長（斎藤羽翼議員）　久住中学校、石毛議員。

〔久住中学校　石毛議員　自席で起立〕

○石毛海杜議員　ご答弁ありがとうございました。私は将来何かを作ったり直したりする職業に就きたいので、飛行機の整備士になり、飛行機が安全に成田の空を飛行できるよう、常日頃から細かなところも注意して行動し、何か抜けていることがないかチェックしながら生活していきたいです。これで、久住中学校の質問を終わります。

（午後　2時34分）

●西中学校

○議長（斎藤羽翼議員）　次に、西中学校、植田愛冬議員、並びに上田侑奈議員。

〔西中学校　議員2名　登壇〕

○植田愛冬議員　私は、西中学校3年の植田愛冬です。成田市が行っている英語教育の取組についてお伺いします。

私は、英語が得意ではありません。その原因として考えたことがあります。それは、授業で習ったことしか話すことができないということです。授業で習ったことしか話せないというのは、自分の言葉で話せないということだと思います。このため、私は英語について楽しさを感じることができないから、「英語が好きになれない」、「興味がなくなる」ということにつながってしまうのではないかと思います。また、ALTの先生方と授業では話せていても、休み時間などに自ら話しかけることがあまりできていないように感じています。このことは、現在の授業の内容では、実際の対話につながっている人が少ないのではないかと考えます。

そこでお伺いいたします。現在の成田市の英語教育における、英語で対話することを目的とした取組についてどのようにお考えですか。

○議長（斎藤羽翼議員）　関川教育長。

〔教育長　関川義雄　登壇〕

○教育長（関川義雄）　植田愛冬議員の、本市における英語教育の取組についてのご質問にお答えいたします。

本市におきましては、文部科学省より特別な認可を受け、英語を教科として小学校 1 年生から、ゲームや音楽などを通して英語に慣れ親しむ授業を行っています。その結果、外国人に物怖じしない態度や、英語によるコミュニケーションの基礎が自然と身につく児童が多くなっています。また、中学校においては、他の市町村より英語の授業数を年間 15 時間程度増やして、本市独自の授業プランに基づいた実践をしております。さらに、市内全校に 48 名の ALT を配置し、英語によるコミュニケーション能力の向上を図っています。これらは全国的に見ても先進的な取組であり、本市の児童・生徒は授業や、学校生活の中で英語に触れる機会が多くあり、英語を使うことの楽しさや自信につながるような授業を展開しております。

小学校では、英語を話す活動や聞く活動を中心に学びますが、中学校では、書く活動や読む活動も加わり、話す活動を学ぶ時間は小学校より少なくなっております。語彙や文法事項も増え、その結果、英語で対話することに不安を感じている中学生もいることと思いますが、教育委員会といたしましては、年間 15 時間分の拡充英語の指導案を毎年見直し、学んだことを実際のコミュニケーション場面で使うことを重視した活動を取り入れております。また、より実践的なコミュニケーション能力の育成につながる授業作りを目指し、教員研修の充実に努めております。

英語のコミュニケーションにおいて大事なことは、学んだり覚えたりした表現を自分自身の言葉として、自らの思いや考えを表現できるようになることです。特に、話す活動においては、間違いを恐れず伝えようとしたり、色々な場面で会話を楽しもうとする気持ちが大切です。自分の言葉が相手に伝わったときの感動は、とても大きいものです。国際空港を擁する本市は、学校外でも外国の方と英語で話す機会が多くありますので、ぜひ授業で学んだことを活かしていただきたいと思います。教育委員会といたしましても、国際交流のできる機会を多く提供し、英語を使って積極的にコミュニケーションができる児童・生徒の育成を図ってまいりたいと考えております。

○議長（斎藤羽翼議員）　西中学校、上田議員。

〔西中学校　上田議員　自席で起立〕

○植田侑奈議員　私は、西中学校 3 年の上田侑奈です。ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

私は国際空港を持つ都市として、外国の方に話しかけられたときに、市民の誰もが困ることのないよう、市全体の英語での対話力の底上げが必要だと考えます。そのために必要な英語力を、小中高を卒業した後、大人になってからも伸ばすことのできる機会が成田市にはあるのか、お聞かせください。

○議長（斎藤羽翼議員）　神山教育部参事。

〔教育部参事　神山金男　自席で起立〕

○教育部参事（神山金男）　上田侑奈議員の、英語力を伸ばす機会についてのご質問にお答えいたします。

本市では現在、市内の高等学校等にご協力をいただき、20 歳以上の方を対象に「高等学校等開放講座」を実施しております。その事業の一環として例年、成田国際高校の英語の先生による「初級英語」、「中級英語」の 2 つの英語講座を開設しております。両講座とも ALT の先生を交えて、日常の会話で役立つ英語力の習得を目指しており、受講生からも「また参加したい」、「英語の学習意欲が強くなった」など、好評をいただいております。

また、本市が運営しております「成田市まなび&ボランティアサイト」には、地域の英語教室や勉強会などの情報を掲載しておりますので、多くの方にご活用していただきたいと思います。

このほか、本市では「成田市国際交流協会」と連携し、外国人と交流する事業を行っております。外国人講師と英会話を楽しむ英会話サロンや、友好都市からの訪問団受け入れ時の通訳、日本語が分からない外国人の会話補助を行う語学ボランティア等、市民の皆様が活躍できる多くの場面があり、英語力を伸ばす機会として考えられます。英語

力に自信のない方も、外国人と交流するこのような事業に参加していただき、楽しみながら英語力を伸ばす機会としていただければと考えます。

今後ますます、グローバル化が進み、訪日外国人の増加とともに、若い皆さんには国際社会に通用する人材としての大きな期待があります。

人種や文化を超えた交流には英語力の向上が必要不可欠でありますので、関係機関やさまざまな団体にご協力をいただきながら英語力向上の機会を充実させていきたいと考えております。

○議長（斎藤羽翼議員）　西中学校、上田議員。

〔西中学校　上田議員　自席で起立〕

○上田侑奈議員　ご答弁ありがとうございました。私は幼いころから医者を志しています。なので、将来、国際都市である成田で働く際、先ほどのお話にもありましたように、国際医療福祉大学医学部などで外国からの患者さんを受け入れることもあるでしょう。そうした場合、コミュニケーションをとる時、公用語である英語を話すことは必須です。なので、国際社会に通用できるように、市でそのように取組が行われているのであれば、私は利用したいと思います。これで、西中学校からの質問を終わります。

（午後　2時44分）

●吾妻中学校

○議長（斎藤羽翼議員）　次に、吾妻中学校、齊藤優輝議員、並びに田原陽登議員。

〔吾妻中学校　議員2名　登壇〕

○齊藤優輝議員　私は、吾妻中学校3年の齊藤優輝です。成田市のオリンピック・パラリンピックに向けた取組についてお伺いいたします。

2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、成田市では、アメリカ陸上チームが事前キャンプを行うことになっています。せっかくアスリートの方々が滞在するので、キャンプ地として事前トレーニングをする場所として成田に来てもらうだけでなく、観光地としての成田の魅力を知っていただけたら良いと思います。また、

私たちとも触れ合える機会があるとうれしいです。

そこで、お伺いいたします。事前キャンプの受け入れは、なかなかない素晴らしい機会ですので、成田市独自のおもてなしと準備が必要だと考えますが、市の見解を伺います。

○議長（斎藤羽翼議員）　小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）　齊藤優輝議員の、アメリカ陸上チームの事前キャンプ受け入れに向けた おもてなしや準備についてのご質問にお答えいたします。

本市では、2020 年の東京オリンピックにおいて、千葉県や佐倉市、印西市、順天堂大学とともに、アメリカ陸上チームの事前キャンプを受け入れることで合意しております。

これは、2015 年の世界陸上北京大会における、アメリカ陸上チームの事前キャンプを受け入れた際に、充実した競技施設や、運営ボランティアをはじめとしたおもてなしが、アメリカ陸上チームからとても高い評価を受け、この度の事前キャンプ誘致につながったものと考えております。この時のボランティアとしては、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催時に、ボランティアの主役として活躍してほしい高校生に、運営補助や通訳補助としての一翼を担っていただきました。2020 年の事前キャンプの際には、これまでのノウハウを最大限に生かし、千葉県などと連携しながら、受け入れに万全を期していきたいと考えております。

また、2015 年の事前キャンプでは、小中学生をはじめとした市民が、トップアスリートと身近に触れ合う交流イベントの開催や、成田市独自のおもてなしとして、成田山新勝寺で必勝祈願の御護摩祈祷を体験するなど、日本の伝統文化にも触れていただき、観光都市成田を海外に発信することができました。2020 年の事前キャンプの際にも、トップアスリートと身近に触れ合ったり、成田の魅力を発信したりする機会を、ぜひ作りたいと考えております。

本来、事前キャンプの目的は、選手の皆さんがそれまで練習してきた成果を、4 年に一度しかないオリンピックの本番で十二分に発揮できるように、最後の調整を行うこと

にあります。最良の練習により、最高の結果を導き出すことが、最大の「おもてなし」に繋がることを念頭に、アメリカ陸上チームと十分な相談をしながら、現在中学生の皆さんや市民の方々とともに、アメリカ陸上チームへのサポートをしていきたいと考えております。

○議長（斎藤羽翼議員）　吾妻中学校、田原議員。

〔吾妻中学校　田原議員　自席で起立〕

○田原陽登議員　ご答弁ありがとうございます。私は吾妻中学校 3 年の田原陽登です。質問を続けます。

先日、成田山参道を観光している外国人の方に道を聞かれたついでに、何か困ったことはないか尋ねてみました。すると Wi-Fi 環境の悪さ・携帯電話の充電できる場所の提供・飲食店でのメニューのわかりづらさなどがあげられました。

そこで、成田市としてはこのような環境整備についてはどのように考えているのか、お答えください。

○議長（斎藤羽翼議員）　伊藤シティプロモーション部長。

〔シティプロモーション部長　伊藤和信　自席で起立〕

○シティプロモーション部長（伊藤和信）　田原陽登議員の、外国人観光客に向けた Wi-Fi の整備等についてのご質問にお答えいたします。

本市では、増加する外国人観光客の受入れ環境の整備といたしまして、平成 25 年度に公衆無線 LAN、いわゆる無料の Wi-Fi のアクセスポイントを空港や成田山表参道、市内宿泊施設などに整備し、より安心して快適、便利に滞在することができる環境の整備促進を図ってまいりました。

加えて、本年 7 月より、多言語観光・災害情報配信アプリの運用を開始し、英語、中国語、韓国語、タイ語に対応したアプリ内で、Wi-Fi アクセスポイントへの誘導が出来るほか、Wi-Fi への自動接続が可能になるなど、さらなる受入れ体制の向上を図ったところであります。

また、携帯電話を充電できる場所の提供については、ホテルやショッピングモールな

ど、一部、民間施設では行われておりますが、充電に時間がかかることや、携帯電話は個人情報を含むなどの課題もありますので、観光案内所などの公共施設での充電できる場所の提供については、今後、検討してまいります。

さらに、飲食店でのメニューについては、写真や簡単な外国語を用いた分かりやすいメニューを表記している店舗もございますが、各店舗の様々な事情もあるため、議員からのご意見については、成田商工会議所をはじめとする関係団体に働きかけてまいりたいと考えております。

今後、東京オリンピック・パラリンピックの開催等により、外国人観光客の増加が見込まれますので、引き続き外国人観光客が安心して快適に過ごせるよう、受入れ環境の強化に努めてまいります。

○議長（斎藤羽翼議員）　吾妻中学校、田原議員。

〔吾妻中学校　田原議員　自席で起立〕

○田原陽登議員　ご答弁ありがとうございました。私は、成田市はとても住みやすい街だと思います。その理由は多くあります。自然が豊か、地域の人との結びつきが強い、公園がたくさんある、歴史のある建造物があるなど、15 年間成田に住んできましたが、成田が嫌だと思ったことは一度もありません。ですが、発展していく社会に対応していくために、環境整備などを少しずつ進めていかないといけないと思いました。僕がこれから大人になるにつれて、考え方も変わると思いますが、観光客にとっても住んでいる人にとっても、良いまち成田であるように、考えながら生きていきたいと思います。これで、吾妻中学校からの質問を終わります。

（午後　2 時 53 分）

●成田中学校

○議長（斎藤羽翼議員）　次に、成田中学校、伊藤拓海議員、並びに多田康祐議員。

〔成田中学校　議員 2 名　登壇〕

○伊藤拓海議員　私は、成田中学校 3 年の伊藤拓海です。今後の道徳の評価についてお

伺いいたします。

私は、普段から道徳の時間によく発表をしています。しかし先日、道徳が特別な教科として評価を行うことになると聞きました。中学校では、平成 31 年度から評価が行われるようですが、今まで一言のコメントで書かれていたことがどのように変わるのかなと疑問に感じています。

道徳は他の教科と違ってテストもなく、問題一つ一つに対する答えもありませんので、他の人と比較することはできないものだと思います。

そこで、お伺いいたします。今後の道徳の評価は、どのように行われるのでしょうか。

○議長（斎藤羽翼議員）　関川教育長。

〔教育長　関川義雄　登壇〕

○教育長（関川義雄）　伊藤拓海議員の、道徳の評価についてのご質問にお答えいたします。

次期学習指導要領では、これまでの「道徳の時間」を小学校では平成 30 年度、中学校では平成 31 年度から「特別の教科　道徳」として位置づけ、教科書を使用した授業を実施し、評価を行うことになりました。

特別の教科、と言われるように、道徳は他の教科とは性質が異なる教科として位置づけられました。そのため、評価を行う際にも、これまでの教科のように、他の児童・生徒と比較したり、数値によって評価したりするものではありません。あくまでも、児童・生徒自身の問題として、一人ひとりが、道徳の授業や日常の生活を通して、どのように成長してきたか、その様子を言葉で表現していきます。そして、児童・生徒の成長の様子は、教師の指導を振り返る大事な要素となり、教える側も教え方を考え直したり、自分自身を振り返ったりする材料となります。

評価というと、それが直接成績に結びつくように考えがちですが、今申し上げたように、道徳は他の児童・生徒と比較して優劣を決めるような性質のものではなく、あくまでも評価される児童・生徒自身が、人間としていかに成長してきたかを認めて、伸ばしていく評価にしなければならないものとされています。したがって、生徒の皆さんは、

安心して授業に取り組み、自分が考えたことや感じたことを、素直に表現できるよう努めていただきたいと思います。

○議長（斎藤羽翼議員）　成田中学校、多田議員。

〔成田中学校　多田議員　自席で起立〕

○多田康祐議員　私は、成田中学校 3 年の多田康祐です。ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

教育評価は、私たち中学生にとってとても気になるものです。毎日真剣に授業を受け、より良い評価につながるよう努力しています。授業内容をより深く理解するためには、タブレット授業を導入するのはどうかと考えております。タブレットで動画や多くの資料を見ることができれば、授業内容もより充実したものになると思いますが、市としてどのように考えているのか、お答え願います。

○議長（斎藤羽翼議員）　宮﨑教育部長。

〔教育部長　宮﨑由紀男　自席で起立〕

○教育部長（宮﨑由紀男）　多田康祐議員の、授業へのタブレット端末の導入についてのご質問にお答えいたします。

タブレット端末につきましては、校内のどこでも利用することができ、パソコン教室だけでなく、普通教室等においても授業で幅広く活用できることから、昨年度より、概ね 5 年で全校への整備を完了できるよう順次導入しております。

昨年度 20 台のタブレット端末を導入した美郷台小学校では、生活科でのアサガオの観察でカメラ機能を用いることや、音楽科でタブレット端末とヘッドホンを使用して様々な楽器の音色を自分で選んで聴き比べること、図画工作の時間にカメラ機能とグラフィックソフトを使用した作品づくりなどで活用しています。

このように、タブレット端末を使用して映像や音を活用することで、子どもたちが興味関心をもって、積極的に学習に取り組むようになってきておりますので、今後も計画的に整備を進めてまいります。

○議長（斎藤羽翼議員）　成田中学校、多田議員。

〔成田中学校　多田議員　自席で起立〕

○多田康祐議員　ご答弁ありがとうございました。今後、学校でタブレットが導入されると聞いたので、安心しました。また、成田市の教育は全国でも高い水準を誇ると聞きました。私は将来、教育に関する仕事をしたいと思っています。なので、今以上に授業を大切にしていきたいと思います。これで、成田中学校からの質問を終わります。

（午後　3時00分）

●公津の杜中学校

○議長（斎藤羽翼議員）　次に、公津の杜中学校、秋本百音議員、並びに木﨑悠喜議員。

〔公津の杜中学校　議員2名　登壇〕

○秋本百音議員　私は、公津の杜中学校2年の秋本百音です。成田市における子どもの安全対策についてお伺いします。

私の住む公津の杜には、なかよしひろばがあり、新たな保育園・子ども園も開園するなど、小さな子どもが増えています。子どもが増えると言うことは、それだけ子どもの安全ために配慮しなければならないことも増えてくるのではないかと思います。

私は、人混みの中でたばこが子どもの顔にあたり怪我をした話を聞いたことがあります。たばこは、火の危険だけでなく煙を吸うことによる健康被害も心配されます。そのため、子ども達がたばこの火やたばこの煙に触れることがないように配慮する必要があると考えますが、この点について市ではどのように考えているのでしょうか。

○議長（斎藤羽翼議員）　小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）　秋本百音議員の、子どもをたばこによる被害から守ることについてのご質問にお答えいたします。

秋本議員のご指摘のとおり、歩行喫煙は、たばこの火がちょうど子どもの顔の高さになったり、受動喫煙に繋がったりするなど、大変危険な行為であると考えております。

本市のたばこに関する取組につきましては、「成田市空き缶等及び吸い殻等の散乱の

防止に関する条例」を制定し、吸い殻のポイ捨てについてモラルの向上を図ってまいりました。

また、多くの観光客が利用する JR 成田駅の周辺における、美観保持や受動喫煙防止の観点から、駅利用者の動線から離れた場所へ、喫煙所の整備をいたしました。この取組により、JR 成田駅周辺における、歩行喫煙など無秩序な喫煙や、吸い殻のポイ捨てに対し、一定の効果が出ているものと受け止めております。

市内の民間事業者の取組としましては、成田市商店会連合会では、様々な利用客に快適に過ごしてもらうため、飲食店の喫煙環境を表すステッカーを店頭に貼る取組を、表参道や公津の杜地区にて進めています。ステッカーは全面禁煙、時間分煙、分煙、喫煙可の４種類で、ピクトグラムとともに４か国語で説明が記載されており、子ども連れの方や外国人も、入店前に一目で店内の喫煙事情を確認することができます。

本市といたしましては、子どもも利用する空間において、子どもがたばこの火や受動喫煙の危険に遭遇しないよう、引き続き、喫煙者のマナー向上の啓発に努め、また、関係団体とも協力して、安全な環境づくりに取り組んでまいります。

また、現在喫煙されている方や未成年の方に、市の健診や健康教育などの機会を通して、喫煙が及ぼす健康被害や疾患、受動喫煙に関する情報を提供し、認識を高めていただくための普及活動を行ってまいります。

○議長（斎藤羽翼議員）　公津の杜中学校、木﨑議員。

〔公津の杜中学校　木﨑議員　自席で起立〕

○木﨑悠喜議員　私は、公津の杜中学校２年の木﨑悠喜です。ご答弁ありがとうございます。質問を続けます。

子ども達の安全な生活のためには、防犯対策や交通安全対策も重要だと思います。成田市では下校時に地域で防犯パトロールをしたり、学校などで交通安全教室が開かれたり、子どもの安全のための取組がされているのにも関わらず、信号無視などの危険な行為をよく見かけて残念に感じています。そこでお伺いいたします。現在、成田市では子ども達が信号無視などの危険な行為をしないよう、どのような対策をとっているのでし

ょうか。

○議長（斎藤羽翼議員）　秋山市民生活部長。

〔市民生活部長　秋山雅和　自席で起立〕

○市民生活部長（秋山雅和）　木﨑悠喜議員の、子どもの交通安全対策についてのご質問にお答えいたします。

子どもの交通安全対策についてのご質問にお答えいたします。

本市では、市民一人ひとりの交通安全意識を向上させ、交通事故を１件でも減少させるため、警察や関係機関と連携し、春と秋の全国一斉、夏と冬の県下一斉に行われる交通安全運動に際しては、横断幕やのぼり旗の設置、交通ルール遵守の呼びかけ等を広報なりたに掲載するなど、事故防止に取り組んでおります。

特に、子どもの交通安全対策につきましては、幼い頃から交通ルールを身につけられるよう、市内の保育園・幼稚園に出向き、小学校入学に備えた交通安全教室を実施しております。

また、平成 28 年 4 月に「成田市通学路交通安全プログラム」を策定し、警察や県の土木事務所、PTA 等の関係機関と連携して、継続的に通学路の安全を確保するため、通学路の合同点検を実施し、その結果を踏まえ改善を行うなど安全性の向上を図っております。

さらに、各学校での交通安全運動、ポスターやリーフレットを活用した交通安全指導を実施し、児童生徒の交通ルール遵守の意識向上を目指しております。

交通ルールを守ることは、事故を防ぎ、命を守るためにも、児童生徒に限らず、すべての人が最低限守るべきことであり、モラルの問題と考えております。

本市といたしましては、引き続き市民のモラル向上を図るため、広報なりたや市のホームページを活用した啓発、あるいは、警察など関係機関と連携し、各種イベント時に啓発活動を実施してまいります。

○議長（斎藤羽翼議員）　公津の杜中学校、木﨑議員。

〔公津の杜中学校　木﨑議員　自席で起立〕

○木﨑悠喜議員　ご答弁ありがとうございました。私の成田市への印象は、自然にあふれ明るい街だと思っています。私は、ほかの街にいて思ったことがあります。それは、成田市のように公園や自然が少ないことです。私の夢は、自然が少ない街に自然あふれる公園を造ることです。そのように気付けたのは、この街、成田市に生まれ育ったことだと感謝しています。これからも夢に向かって努力していきます。これで、公津の杜中学校からの質問を終わります。

○議長（斎藤羽翼議員）　これで、各中学校の代表質問を終わります。

（午後　3時09分）

◎市長の講評

○議長（斎藤羽翼議員）　ここで、市長より発言を求められておりますので、これを許します。小泉市長。

〔市長　小泉一成　登壇〕

○市長（小泉一成）

中学生議員の皆さん、大変お疲れさまでした。今、議会全ての答弁が終了しましたので、「講評」を述べさせていただきます。

本日、中学生議員の皆様方からいただいた質問は、成田市が直面している重要課題であったり、また、市民に身近で密着したものであったり、皆さんの中学校生活を実りあるものとするためのものであったり、国際空港を擁しております成田市だからこそ外国人の視点に立ったものであったり、本当にすばらしい質問であったと受け止めております。何よりも皆さんの成田に対する思いというものを非常に強く感じました。そして、私や教育長、また、各部の部長も全力で答弁をさせていただきました。

皆さんから今日いただいた貴重なご質問あるいは提言は、私のモットーとしております『“住んでよし　働いてよし　訪れてよし”の生涯を完結できる空の港まちづくり』に、そして今後の成田市の発展に、大いに役立てていきたいと思います。

また本日、皆さんは質問あるいは提言・意見を述べるとともに、他の中学生議員の質問・提言・意見にも耳を傾け、市からの様々な答弁を聞いていただきました。そのことで見聞も広がったと思っております。どうか、ご家族、あるいはご友人にも、皆様方の経験・見聞をぜひ伝えていただければと思います。

今、将棋界では中学生棋士の藤井四段が活躍しています。また、サッカー界においては久保選手が 15 歳で J リーグ最年少得点を決めたり、競泳では池江選手が日本選手権において五冠を達成したり、卓球界では 14 歳の張本選手が世界の舞台で活躍したりと、様々な分野での中学生・高校生の活躍には目を見張るものがあります。今日それぞれの夢を述べてくれた議員もいらっしゃいます。夢の実現に向けて皆様方のこれからの歩みに大いに期待するとともに、市といたしましても、皆様方を支えてまいりたいと思っております。

結びにあたりまして、本日お忙しい中、傍聴をしていただきました保護者の皆さん、学校関係者の皆さん、議員の皆様方に感謝を申し上げまして、平成 29 年度中学生議会の講評といたします。皆様本当にありがとうございました。そして、お疲れ様でした。

（午後　3 時 13 分）

◎議会の閉会

○議長（斎藤羽翼議員）　これをもって、今、議会の日程は終了いたしました。以上をもちまして、平成 29 年度 成田市中学生議会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

（午後　3 時 14 分）